



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 坪井 鈴兒
 (氏名) 山下 和男

TEL 025-245-4112

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,444	△4.7	501	△32.3	497	△36.4	155	△73.7
24年3月期第3四半期	15,154	△2.5	741	130.1	781	196.1	590	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 133百万円 (△87.4%) 24年3月期第3四半期 1,062百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.76	—
24年3月期第3四半期	21.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	38,511	12,067	31.3	447.32
24年3月期	38,906	12,014	30.9	445.36

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,067百万円 24年3月期 12,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,640	△4.9	640	△21.4	570	△31.7	350	△34.0	12.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) (株)リンコーホールディングス
(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	27,000,000 株	24年3月期	27,000,000 株
25年3月期3Q	22,347 株	24年3月期	21,842 株
25年3月期3Q	26,977,805 株	24年3月期3Q	26,978,925 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成24年4月1日から12月31日までの9ヶ月間(以下、当第3四半期連結累計期間)におけるわが国経済は、円安・株高や新政権の経済対策を背景に先行きへの期待感が高まりつつあるものの、雇用・所得環境の弱さなどから、個人消費の先行きについては依然として慎重であり、景況感は未だ予断を許さない状況にあるものと認識しております。

このような事業環境にあつて当社企業グループは、主力である運輸部門において、新潟港が東日本大震災による被災港代替機能の役割を終えたことやメーカー各社の減産により取扱貨物が減少し、前年同四半期比で減収減益となりました。一方、機械販売部門、ホテル事業部門及びその他においては好調に推移し、前年同四半期比で増収増益となりましたが、全体では減収減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は144億4千4百万円(前年同四半期比4.7%の減収)、営業利益は5億1百万円(前年同四半期比32.3%の減益)、経常利益は4億9千7百万円(前年同四半期比36.4%の減益)となりました。また、特別損失として、保有株式に係る投資有価証券評価損1億2百万円、ホテル事業部門の事業用資産の一部を使用停止にしたことによる減損損失7千8百万円を計上したことなどから、四半期純利益は1億5千5百万円(前年同四半期比73.7%の減益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[運輸部門]

新規貨物獲得に向け積極的な集荷活動を展開して参りましたが、新潟港における被災港代替機能収束の影響は大きく、港湾運送事業における船内取扱数量は、一般貨物、コンテナ貨物共に前年同四半期より減少し、443万3千トン(前年同四半期比16.3%の減少)となりました。

当社と運輸系子会社3社(新光港運株式会社、リンコー運輸株式会社、丸肥運送倉庫株式会社)を合わせた同部門の収入は78億3千2百万円(前年同四半期比12.7%の減収)、セグメント利益は1億8千2百万円(前年同四半期比67.6%の減益)となりました。

[不動産部門]

地代・家賃収入を合わせた同部門の収入は2億7千4百万円(前年同四半期比7.3%の減収)、セグメント利益は1億6千3百万円(前年同四半期比3.8%の増益)となりました。

[機械販売部門]

前年度からの積極的な営業活動により、大型の建設・産業機械の販売件数が増加し、同部門の収入は10億3千4百万円(前年同四半期比19.4%の増収)、セグメント損失は3千万円(前年同四半期は6千7百万円のセグメント損失)となりました。

[ホテル事業部門]

株式会社ホテル新潟では、東日本大震災発生後の法人・個人の自粛ムードにより落ち込んでいた売上が、震災発生以前の水準にまで回復いたしました。株式会社ホテル大佐渡においても、春先の天候不良による宿泊客数の伸び悩みはあったものの、一般客数・企画募集客数ともに震災以前の水準に回復しており、更に宿泊客の受注区分割合の見直しにより宿泊単価も前年同四半期比で上昇しております。

これらの結果、同部門の収入は23億8千万円(前年同四半期比9.8%の増収)、セグメント利益は1億1千4百万円(前年同四半期比647.6%の増益)となりました。

[商品販売部門]

貿易収入は、住宅着工戸数の低迷による住宅資材の取扱減少や、衣料品及び食品の輸入落ち込みにより低調となったものの、商品販売収入において、大型の業務用機械設備納入案件やセメントの販売が好調であった結果、同部門の収入は28億7百万円(前年同四半期比1.4%の増収)、セグメント利益は4千5百万円(前年同四半期比16.0%の減益)となりました。

[その他]

産業廃棄物の処理業務における廃材受入数量の大幅な増加により、保険代理店業務等を合わせたその他の収入は2億2千8百万円(前年同四半期比19.1%の増収)、セグメント利益は2千4百万円(前年同四半期比95.7%の増益)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分及び事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しており、前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

詳細は、9ページ「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報等」をご覧ください。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の資産の部は前連結会計年度末と比べて3億9千5百万円減少し、385億1千1百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却によるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて4億4千8百万円減少し、264億4千3百万円となりました。これは主に未払法人税等の支払い、長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比べて、5千2百万円増加し、120億6千7百万円となりました。これは主に四半期純利益、配当金の支払い、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの売上高、営業利益、経常利益の進捗状況が概ね順調であり、当期純利益についても現在の当社を取り巻く経営環境、経済情勢などから判断すると、当初の予想の範囲内で推移するものと見込んでおります。

よって、現時点では平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判断される場合は、速やかにお知らせいたします。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年4月1日付で当社を存続会社とし、株式会社リンコーホールディングスを消滅会社とする吸収合併を行ったため、同社については、連結の範囲から除いております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	589,071	670,101
受取手形及び営業未収入金	4,126,430	4,266,494
たな卸資産	250,881	251,100
繰延税金資産	136,671	69,364
その他	161,399	278,051
貸倒引当金	△5,102	△13,311
流動資産合計	5,259,352	5,521,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,315,988	22,211,008
減価償却累計額	△14,685,051	△14,948,447
建物及び構築物(純額)	7,630,936	7,262,561
機械装置及び運搬具	2,292,477	2,298,004
減価償却累計額	△2,001,231	△2,002,660
機械装置及び運搬具(純額)	291,245	295,343
土地	22,005,293	21,956,871
リース資産	686,286	718,544
減価償却累計額	△210,210	△281,051
リース資産(純額)	476,076	437,493
建設仮勘定	—	61,972
その他	1,192,423	1,203,996
減価償却累計額	△1,035,024	△1,031,004
その他(純額)	157,398	172,991
有形固定資産合計	30,560,951	30,187,234
無形固定資産		
リース資産	22,132	18,583
その他	433	267
無形固定資産合計	22,566	18,851
投資その他の資産		
投資有価証券	2,016,260	1,923,347
繰延税金資産	54,848	54,989
その他	1,640,187	1,401,069
貸倒引当金	△649,980	△597,422
投資その他の資産合計	3,061,316	2,781,983
固定資産合計	33,644,834	32,988,069
繰延資産		
社債発行費	2,306	1,362
繰延資産合計	2,306	1,362
資産合計	38,906,492	38,511,232

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,089,936	2,421,682
短期借入金	6,800,000	6,900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,650,602	2,448,748
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	111,319	115,630
未払法人税等	348,260	13,569
賞与引当金	89,148	154,845
資産除去債務	—	15,600
その他	1,052,721	835,565
流動負債合計	13,241,989	13,005,641
固定負債		
社債	100,000	50,000
長期借入金	5,058,544	4,944,937
リース債務	402,731	354,760
繰延税金負債	1,406,897	1,348,374
再評価に係る繰延税金負債	5,805,018	5,806,436
退職給付引当金	477,411	575,346
役員退職慰労引当金	125,644	100,278
環境対策引当金	20,810	20,810
資産除去債務	103,117	90,714
その他	149,345	146,171
固定負債合計	13,649,521	13,437,830
負債合計	26,891,511	26,443,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,459	809,459
利益剰余金	641,306	710,728
自己株式	△6,691	△6,757
株主資本合計	3,394,074	3,463,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,916	54,802
土地再評価差額金	8,545,990	8,549,526
その他の包括利益累計額合計	8,620,906	8,604,329
純資産合計	12,014,980	12,067,760
負債純資産合計	38,906,492	38,511,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高		
運輸作業収入	7,929,723	6,929,575
港湾営業収入	161,824	156,406
不動産売上高	274,093	255,481
機械営業収入	779,252	952,332
ホテル営業収入	2,160,874	2,374,086
商品売上高	2,733,195	2,763,451
その他の事業収入	1,115,922	1,013,483
売上高合計	15,154,887	14,444,816
売上原価		
運輸作業費	7,028,915	6,350,731
港湾営業費	141,412	138,154
不動産売上原価	116,557	95,844
機械営業費	760,776	897,190
ホテル営業費	1,867,491	1,977,858
商品売上原価	2,648,095	2,687,817
その他の事業費用	745,836	672,256
売上原価合計	13,309,085	12,819,853
売上総利益	1,845,801	1,624,962
販売費及び一般管理費	1,104,554	1,123,318
営業利益	741,247	501,644
営業外収益		
受取利息	10,240	5,663
受取配当金	45,919	39,067
貸倒引当金戻入額	109,980	41,438
雑収入	37,717	53,370
営業外収益合計	203,857	139,541
営業外費用		
支払利息	139,472	131,004
雑支出	24,090	12,759
営業外費用合計	163,563	143,763
経常利益	781,541	497,421

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,430	6,188
資産除去債務履行差額	6,164	—
特別利益合計	7,595	6,188
特別損失		
固定資産処分損	19,372	36,783
土地売却損	—	36,761
投資有価証券評価損	9,417	102,528
減損損失	—	78,302
特別損失合計	28,789	254,375
税金等調整前四半期純利益	760,346	249,234
法人税、住民税及び事業税	294,738	114,964
法人税等調整額	△124,941	△21,041
法人税等合計	169,796	93,923
少数株主損益調整前四半期純利益	590,550	155,311
四半期純利益	590,550	155,311

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	590,550	155,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268,985	△20,113
土地再評価差額金	741,003	△1,417
その他の包括利益合計	472,017	△21,531
四半期包括利益	1,062,568	133,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,062,568	133,779

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,969,402	274,093	825,175	2,160,874	2,733,195	14,962,742	192,145	15,154,887
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,025	21,951	41,263	7,378	35,914	112,533	48	112,581
計	8,975,427	296,045	866,439	2,168,252	2,769,110	15,075,275	192,194	15,267,469
セグメント利益又は損失(△)	562,860	157,040	△67,465	15,374	54,608	722,419	12,636	735,055

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	722,419
「その他」の区分の利益	12,636
セグメント間取引消去	1,512
その他の調整額	4,680
四半期連結損益計算書の営業利益	741,247

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,826,768	255,481	996,111	2,374,086	2,763,451	14,215,899	228,916	14,444,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,077	18,854	38,255	6,718	43,648	113,553	73	113,627
計	7,832,846	274,335	1,034,367	2,380,805	2,807,099	14,329,453	228,990	14,558,443
セグメント利益又は損失(△)	182,434	163,059	△30,139	114,935	45,891	476,181	24,726	500,907

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、グループ経営の効率化、将来の事業環境の変化に迅速に対応できる体制を構築することを目的として、当社を存続会社とし、株式会社リンコーホールディングスを消滅会社とする吸収合併、当社と株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡において、当社が営む不動産賃貸事業の一部を他の2社が承継し、両社がそれぞれ営む不動産賃貸に係る事業の一部を当社が承継する吸収分割を実施しております。

この結果、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「運輸部門」で1,040,191千円増加、「不動産部門」で4,037,408千円減少、「ホテル事業部門」で99,653千円増加、「全社資産」で902,021千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	476,181
「その他」の区分の利益	24,726
セグメント間取引消去	199
その他の調整額	536
四半期連結損益計算書の営業利益	501,644

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、グループ経営の効率化、将来の事業環境の変化に迅速に対応できる体制を構築することを目的として、当社を存続会社とし、株式会社リンコーホールディングスを消滅会社とする吸収合併、当社と株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡において、当社が営む不動産賃貸事業の一部を他の2社が承継し、両社がそれぞれ営む不動産賃貸に係る事業の一部を当社が承継する吸収分割を実施しております。

このグループ再編により、従来、「不動産部門」に含まれていた、当社が営んでいた不動産の所有、売買、貸借、仲介及び管理事業のセグメント間取引と「ホテル事業部門」に含まれていた株式会社ホテル新潟及び株式会社ホテル大佐渡の営んでいた土地の賃貸事業のセグメント間の取引が、それぞれ減少しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、グループ再編後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

各報告セグメントのうち、当社の販売費及び一般管理費の配賦につきましては、従来、各報告セグメントの固定費の割合に応じて配賦する方法によっておりましたが、経営管理上、各報告セグメントの事業効率を、より公正かつ適正に把握するため、第1四半期連結会計期間より各報告セグメントに属する人員に応じて配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテル事業部門」セグメントにおいて、株式会社ホテル大佐渡のホテル事業用資産の一部分について、使用停止を決定したことから、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては、78,302千円であります。